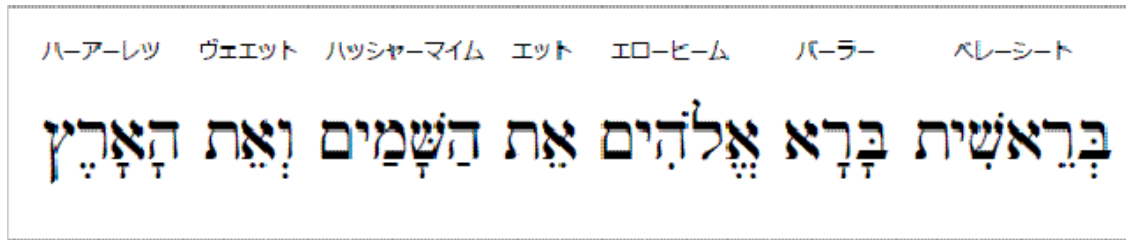


## 創世記 1 章 1 節を味わう

### ヘブル語本文



### はじめに

創世記 1 章 1 節を味わうための前段階として、ヘブル語のアルファベットの文字の読み書きができるようにすることです。それができることだけでも自信がつかます。このことはこれからヘブル語に親しみを持つために重要なことです。覚える工夫は自分でしてください。「牧師の書齋」の「ヘブル語のコラム」の中にありますので、印刷されると良いと思います。

#### (1) アルファベット一覧

<http://meigata-bokushin.secret.jp/index.php?%E3%83%98%E3%83%96%E3%83%AB%E8%AA%9E%E3%82%A2%E3%83%AB%E3%83%95%E3%82%A1%E3%83%99%E3%83%83%E3%83%88%E4%B8%80%E8%A6%A7>

#### (2) アルファベットの書き方

<http://meigata-bokushinoshosai.info/swfu/d/hebrew.pdf>

1. 1 章 1 節をゆっくりと声を出して読んでみる。「ベレーシート」、および「バーラー」の「レーシュ」𐤱は巻き舌で出す「レ」のです。「ベレーシート バーラー エロ-ヒーム」まで一区切りです。

#### 2. 発音記号についてこちらのアドレスをご覧ください

<http://meigata-bokushin.secret.jp/index.php?%E3%83%98%E3%83%96%E3%83%AB%E6%96%87%E5%AD%97%E3%81%AE%E6%AF%8D%E9%9F%B3%E7%AC%A6%E5%8F%B7>

3. 声を出して読めるだけでなく、ヘブル語本文を書けることにも挑戦できたらより良いです(発音記号も加えること)

4. さて、ヘブル語本文の文法の分析です。ミルトス社の「ヘブライ語聖書対訳」で確認できます。

他には、「Free Bible Tools」<http://www.tgm.org/bible.htm> 【資料 1】

もうひとつ、これは購入しなければ仕えませんが、日本コンピューター聖書研究会の「J-ばいぶる」の Hebrew(3<sup>rd</sup>) 【資料 1】でも見るすることができます。ちなみに、それで見ると文法解析がどんなふうになっているかを以下に表記してみます。紙面の関係と見やすいように私の方で文字の大きさとフォントを統一して、詰めて編集してあります。

J-ばいぶる HEBREW 原書講読画面

Gen 1:1

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם

וְאֶת הָאָרֶץ

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ

(※ここで色分けされているのは、それぞれの品詞を表わすためです。)たとえば、動詞は「赤色」です。

<文法解析ノート> Gen 1:1

- 1> ב (前置詞) @PpN [15799] <10007> 中,(理由,代価,手段,場所,時の)で
- 2> רֵאשִׁית (普通名詞女単) @ncfsN [51] <7225> 初め,最初,最高,首長,選り抜きの部分,精華
- 3> בָּרָא (動詞Qal完3男単) @vqp3msN [54] <1254> 創造する,形づくる,切り出す,太らせる
- 4> אֱלֹהִים (普通名詞男複) @ncmpN [2602] <430> 神,神々,
- 5> אֶת (定目的語記号) @PoN [11873] <853> 目的格記号
- 6> ה (冠詞) @PaN [24215] <10009> (冠詞)
- 7> שָׁמַיִם (普通名詞男複) @ncmpN [421] <8064> 天,空,大空
- 8> וְ (接続詞) @PcN [51275] <10012> …と…
- 9> אֶת (定目的語記号) @PoN [11873] <853> 目的格記号
- 10> ה (冠詞) @PaN [24215] <10009> (冠詞)
- 11> אָרֶץ (普通名詞男女単) @ncbsN [2505] <776> 地,土地,国

<聖書翻訳比較ノート>

【口語訳】

Gen 1:1 はじめに神は天と地とを創造された。

【新改訳改訂3】

Gen 1:1 初めに、神が天と地を創造した。

【新共同訳】

## 創世記 1 章 1 節を味わう

Gen 1:1 初めに、神は天地を創造された。

【NKJV】

Gen 1:1 In the beginning God created the heavens and the earth.

【TEV】

Gen 1:1 In the beginning, when God created the universe,

---

●以上の文法解析から、四つの品詞(動詞、名詞、前置詞、接続詞、冠詞) からなっていることが分かります。

5. 文法解析が分かったあとでこの 1 章 1 節をどのように味わうか、その手立てを試みてみたいと思います。

5-(1)

●まずは動詞の「バーラー」**בָּרָא**に注目します。ヘブル語は動詞がきわめて重要で、名詞や形容詞も動詞から派生しています。解析されたツールを知らずに基本となっている動詞を同定するにはものすごく時間がかかります。基本となっている動詞(つまりヘブル語辞典に表記されている動詞)は **3 人称単数**です。創世記 1 章 1 節は、最も基本的な動詞が使われているのでそのまま辞書で調べることができます。この「バーラー」という動詞が旧約聖書の中での使用頻度とその箇所は【資料 1】 【資料 2】 で調べられます。

●関連する語彙についてノートしておくことは、後で力を発揮します。たとえば、「バーラー」は「創造する」と訳されます。他に「形作る」と訳される「ヤーツアル」**יָצַר**、「作る」と訳される「アーサー」**עָשָׂה**があります。「アーサー」はコンコルダンスを調べるとこの三つの中でも一番多く使われる語彙で 2626 回で英語訳は do, make です。「ヤーツアル」は 42 回で英語訳は formed, planned、「バーラー」**בָּרָא**は 48 回(回数はずいぶんコンコルダンスによって異なります。ここでの回数は NIV 訳のコンコルダンスです)で英語訳は created です。イザヤ書 43:7 には、創造に関するこれらの三つの語彙(動詞)がひとつの節の中に使われています。ぜひ、自分で調べてみてください。

●「バーラー」の創造は必ずしも「無からの創造」を意味しません。それをも含みますが、むしろ新しいもの、新しいことを生み出す限りにおいて、神の働きを指し示す動詞として、神のために取り置かれている動詞です。つまりこの動詞の特異性は、常に主語が神であるという点です。こうした点を念頭において使われている箇所から心触れるものを選び出して瞑想することでこのことばが心に刻み込まれます。

5-(2)

●次に、**名詞**に注目します。創世記 1 章 1 節では、4 つの名詞が使われています。名詞には固有名詞と普通名詞があります。ここでは固有名詞が 1 個、「神」と訳される「エローヒム」**אֱלֹהִים**、普通名詞が 3 個で、「はじめ」と訳される「レーシート」**רֵשִׁית**、「天」と訳される「シャーマイム」**שָׁמַיִם**と「地」と訳される「エレツ」**אֶרֶץ**です。名詞に男性名詞と女性名詞がありますが、語尾に「**ה**」とか「**ת**」がついているなら女性名詞とみなせます。

5-(2)-①

●「神」と訳される「エローヒム」は複数形です。なぜ、神が「複数形」で表わされるのか、瞑想の種になると面白いでしょう。他に、聖書で使われている「神」を表わす語彙を覚えておくのも良いと思います。Name

## 創世記 1 章 1 節を味わう

Theology という言葉があります。神、人物、もののヘブル語の名前にはすべて意味があるとして扱う考え方です。

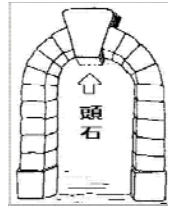
●創世記の中には次のような「神」の名が登場します。たとえば、

「神」(エローヒーム)、「主」(ヤーウェ)、「主」(アドナイ)、神(エール)、「いと高き神」(エル・エルヨーン)、「全能の神」(エル・シャダーイ)、「顧みる神」(エール・ロイ)、「備えられる主」(アドナイ・イルエ)などがそうです。ちなみに、その中でも唯一、神がアブラハムに対して直接に啓示された名は「全能の神」でした。

### 5-(2)-②

●このようにして、他の名詞(はじめ、天、地)についてもノートすることが勉強です。

必ず、後で生きてきます。特に、「はじめ」の「レーシート」**רֵשִׁית**の近親語を辞書でチェックしておくが良いです。「名詞(女)」の「レーシート」**רֵשִׁית**は「初め、初物、最上の物」という意味ですが、男性名詞「ローシュ」**רֵשֶׁת**もあります。「頭、かしら、上部」を意味します。詩篇 118 篇 22 節にある「家を建てる者たちの捨てた石。それが礎の石になった」とありますが、「礎」と言う部分が新共同訳では「隅の親(石)」と訳されています。原文の直訳では「隅の頭に」です。



### 5-(3)

**接続詞**について、ヘブル語の聖書本文にはやたらと接続詞「ヴァ、あるいはワァ」**וְ**が使われています。

創世記 1:1 では、「天と地」の「と」に当たる部分です。**וְהָאָרֶץ וְהַמַּיִם**

名詞と名詞を結ぶ接続詞は難しくありませんが、「ヴァヴ継続法」と言って、接続詞ヴァヴの直後にくる動詞の場合については別に学ぶ必要があります。これはヘブル語特有の表現方法です。

## 6. 「メリズモ」という修辞法

●前者の「メリズモ」という表現法ですが、「天と地」という二つの**相反する言葉をつなぎ合わせることで、「すべてのもの」を表わすことを言います**。新共同訳では「天地」と訳していますが、原文では「天」と「地」の間に「と」という接続詞の「ヴェ」**וְ**があります。「天と地」は空間的総称を表わす表現法です。「天にあるものと地にあるものすべて」という意味です。詩篇 1 篇 2 節にある「昼も夜も」は時間的、あるいは状況的総称を意味します。他にも「ダンからベエルシェバまで」といえば「北から南まで」、あるいは、「日の上るところから沈む所まで」といえば地理的総称を意味します。「善と悪」といえば「善からはじまり悪に至る」知識の総称を意味します。このように全く逆のことばを使って全体を表す修辞法が「メリズモ」です。この修辞法は覚えておくが良いです。たとえば、「神様がこの世界で一番、最初に創られたものはなんですか?」という質問をしたとします。おそらく多くの方が、「天と地」と答えるに違いありません。しかし答えは「光」です。余談ですが、この「光」も太陽とは異なる不思議な光ですが、聖書の歴史の中にはこの光(シャカイナ・グローリー)を見た人たちがいます。すべての被造物はこの光の中で造られていきます。「天と地」は「(秩序ある)すべてのもの」を意味しますので、これから造られるものの要約した表現だと言えます。

空知太栄光キリスト教会牧師 銘形 秀則